

鳥信 WEB 版 2021 年 09 月号

<筑後エリア>

【ブッポウソウの巣について】

八女市矢部村（日向神ダム）のブッポウソウの繁殖に関しては、鳥信 WEB 版では 6 月号で「ブッポウソウの巣箱への巣」を掲載しましたが、その後の経緯を含めて今月号でお知らせします。

6 月 6 日に確認された巣箱で巣のブッポウソウは、巣に近寄って撮影するカメラマンが多く、看板に「50m以上は絶対に近寄らないで」の注意書きを追加して頂きましたが、それでも守らない人が多く、やはり、心配した通り巣箱の出入りは確認できない状況となりました（6 月 20 日頃）。

*6月20日 日向神ダムのブッポウソウ 野田（美）

日向神ダムのブッポウソウの様子を見に行ってきました。

9 時 30 分ごろ現地に着いた時には、2 グループ（北九州市、天草）5 名の方が観察していました（写真①）。

白い車の前の電柱に看板（写真②）がかけてあり、皆さん、そこより先には行かないよう観察されていましたが、大きな声で話をされる方もいました。

ブッポウソウは 2 羽で、ずっと巣箱とは反対側の電線に止まっており、10 時ごろ、橋のあたりに飛んだ後、飛び去ってしまい、10 時 30 分に現場を離れるまで戻りませんでした。最初に来た人は 9 時ごろから見ていたそうで、結局、1 時間半以上、巣箱には寄り付きました。

ひょっとして渓流公園の巣箱のあたりに居ないかなど探してみましたが居ませんでした。

その後、11 時 45 分ごろ戻ると 2 羽とも居ましたので、橋の近くから観察しましたが、12 時 30 分に帰るまで、やはり巣箱には近づきませんでした。

これだけの時間、巣箱に近寄らないということは繁殖の方は失敗ですかね。ただ、写真③のように求愛給餌みたいなことはしていますが。



▲写真① ブッポウソウの巣地で観察・撮影している地域外からの観察者 撮影：野田（美）



▲写真② ブッポウソウの営巣地に設置した看板 撮影：野田（美）



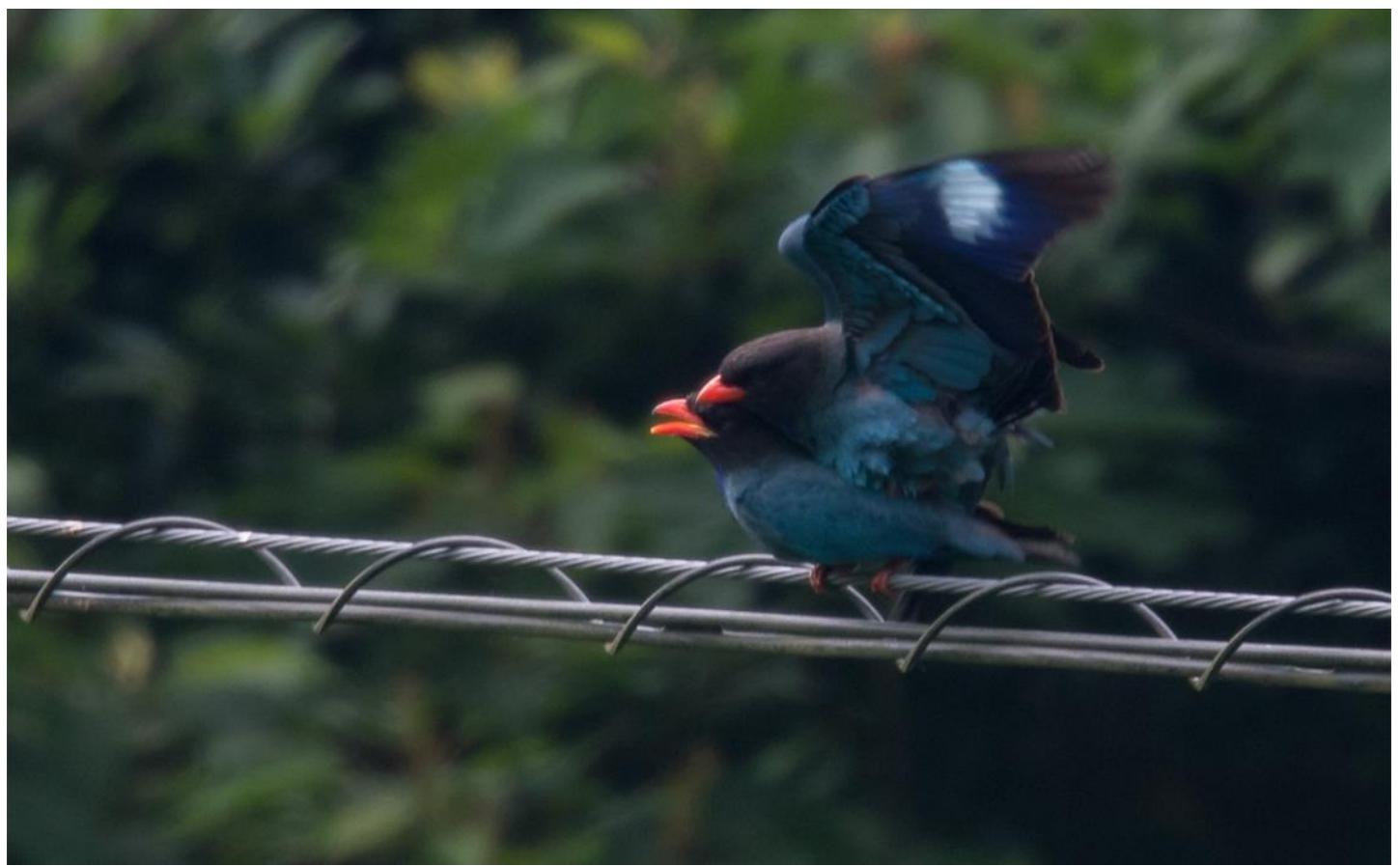
▲写真③ ブッポウソウの求愛給餌行動 撮影：野田（美）

*6月30日 矢部村のブッポウソウ 中尾勝郁

今期初めて矢部村のブッポウソウの様子を見てきました。既に情報を頂いた通り、2羽がいつもの電線に止まっていました。

観察を始めてしばらくは1羽だけになっていましたが、もう1羽が戻ってきたと思ったら、2羽仲良く並んで電線に止まり、しばらくすると交尾を始めました。

巣箱には出入りしてなかったので、別の場所に巣を確保しているのかもしれません。



▲ブッポウソウの交尾 撮影：中尾勝郁



▲ブッポウソウの飛翔 撮影：中尾勝郁

*7月18日 ブッポウソウ・矢部村 野田（美）

10時前に到着し、小一時間観察している間、1羽が3回ほど飛来しましたが、11時前頃、はじめて2羽が飛来しました。その後、1羽が西園橋の橋梁の穴に入り、20分ほどしてから出てきました。観察している間、巣箱には全く近づきませんでした。

6月30日に中尾さんが交尾を確認しており、ブッポウソウの抱卵期間は22~23日くらいなので、昨年と同様に西園橋の橋梁に営巣していて、1羽は初めからずっと橋梁の穴の中で抱卵していたかもしれません。

今年は是非とも繁殖に成功して欲しいですね。



▲西園橋の巣穴から顔を出すブッポウソウの親 撮影：野田（美）

*8月16日 ブッポウソウ・矢部村 野田（美）

気になりながらも今まで時間が取れなかつたのですが、日向神ダムのブッポウソウの繁殖確認に行ってきました。

生憎の雨模様でしたが、10時30分ごろ到着すると、対岸の電線に1羽が止まっているのを見つけました。車の中から観察する準備をしていると、通りがかった女性が、巣箱の横の電柱の上にも1羽止まっていると教えてくれました。雨が降る中、しばらくの間、両岸に1羽ずつ止まって、時折、虫を追いかけているようでした。

橋梁の巣穴では、暗くて不鮮明ながらもヒナの趾（あしゆび）や黄色い嘴を確認できました。エサがなかなか届かないので待ちきれずに巣穴の縁まで登ってきていました。

親たちは離れたところからエサを探しながらも巣穴を見張っているみたいで、一度、トビが橋の下を飛んだ時、2羽で鳴きながら威嚇飛行して追い払いました。途中で雨が強くなるなか、親たちはじっと電線に止まってエサ探しと巣穴の見張りを続けていましたが、1時間半ほどの観察の間、ヒナへの給餌は確認できませんでした。

ヒナはかなり大きくなっています。鳥は一般的に交尾後1~2週間で産卵すると言われていますので、6/30に中尾さんが交尾を確認し、さらに、ブッポウソウは22~23日抱卵後、孵化して20日くらいで巣立つそうなので、まさに今週後半くらいが巣立ちの時期にあたりそうです。巣の中にヒナが何羽いるかわかりませんが、今年は無事に巣立って欲しいですね。



▲雨の中のブッポウソウ 撮影：野田（美）



▲雨の中のブッポウソウ 撮影：野田（美）



▲巣立ち直前のブッポウソウのヒナ 撮影：野田（美）

注) 昨年は、巣立ち直前のこんな姿を確認した後、カラスに襲われてしまった。



▲ヒナの巣立ちが確認された 2021年8月18日 撮影：KT

【ベニアジサシの渡来調査について】

今年度のベニアジサシ調査について報告します。

*6月26日 三池島ベニアジサシ調査報告 江口浩喜

昨年確認されなかったベニアジサシが今日は最高6羽確認出来ました。

しかし、過去の記録見ると、

2015年：6月20日に18羽確認したがその後の飛来は少なく繁殖しなかった

2019年：6月22日に4羽確認したがその後の飛来はなく繁殖しなかった

という事例がありました。今年はうまく繁殖するとよいのですが…。次回の調査が気になります。

【調査詳細】

ベニアジサシは調査中に3回飛來した。

9:35～9:40に、4羽が西方より飛來。上空を数回旋回後、北方向に飛び去った。

9:43～9:46に、4羽が西方より飛來。上空を数回旋回後、北方向に飛び去った。

10:12～10:25に、6羽が東方より飛來。上空を数回旋回後飛び去った。

その他に観察された鳥類：ヒバリ9羽、ミサゴ1羽



▲三池島で確認されたベニアジサシ 6羽 撮影：野田（美）



▲ベニアジサシ 撮影：野田（美）



▲ベニアジサシ 撮影：野田（美）

*7月24日 三池島ベニアジサシ調査報告 江口浩喜

ベニアジサシ2羽が、8:50に南から飛来し、三池島上空を何度も旋回し、9:00には西方に飛び去った。

その他に観察された鳥類：ミサゴ1羽、ハマシギ74羽、キアシシギ3羽、ヒバリ3羽、カワウ1羽

*7月31日 ベニアジサシ陸上調査（有明海沿岸陸路及びフェリー航路） 江口浩喜

三池島の2回の調査で少數ながら飛来が確認されたので、陸路調査は有明海沿岸を、①北～西回り（白石～鹿島～諫早往復）、②南～西回り（長洲・フェリー～多比良～諫早往復）で行いました（調査交通費は、県RDB鳥類分科会の助成による）。

①北回りコースでは、白石、鹿島の泥質海岸にはカモメ類、シギ・チはおらず、竹崎、小長井の岩礁の海岸は、広い場所が無く、1カ所・竹崎の灯台にはカワウとウミネコ（120羽ほど）がいるだけだけでした。

②南回りコースでは、長洲港～多比良港航路フェリー往復海上で計17羽のベニアジサシを確認（ほぼ中間点と島原寄りの2回で、飛来方向は島原方面から）で、陸上も期待しましたが（諫早ではそれらしき姿は見掛けたものの）確認できませんでした（帰りも同コースで、陸上では確認できず）。

しかし、「どこかに繁殖しているに違いない」確認は出来ましたので、来年再調査をしたいと強く思いました。

【他の野鳥情報】

*7月4日 オオノスリ・筑前町 野田（美）

筑前町の田んぼを車で回っていて、畔にオオノスリの若鳥がいるのを見つけました。場所的にも、季節的にも？？？でしたが、車の中からじっくりと観察できました。

しばらくして飛び立った後、近くの耕作地に降りて、野ネズミを捕まえました。野ネズミを食べた後も、小一時間ほど留まって向かい風に停空飛翔しながら獲物を探しているようでしたが、目を離した隙に見失いました。その後1週間ほど現地に滞在したようですが、7月11日を最後に確認していません。

昨冬は全国的にオオノスリの当たり年で、佐賀空港でも3個体越冬したとのことで何度か観察できたのですが、なかにはこの個体のように大陸に渡りそびれたものがいるのでしょうか。山口県の方でオオノスリの若鳥が6月まで2ヶ月間滞在していたとのことですので、もしかしたら同一個体かもしれません。

2月に佐賀空港で観察した個体（4枚目の写真）と比べると別種と思うくらい瘦せていて、風切りや尾羽もボロボロですが、日本の暑い夏をどうにか乗り越えて、来春は無事大陸に帰ってほしいと思います。



▲オオノスリ（筑前町） 撮影：野田（美）



▲ネズミを捕らえたオオノスリ（筑前町） 撮影：野田（美）



▲オオノスリ（2021年7月、筑前町） 撮影：野田（美）



▲オオノスリ（2021年2月、佐賀空港） 撮影：野田（美）

*7月13日 ササゴイ・筑後市 松富士将和

筑後市のけやき通り（南北通り）で、ササゴイ2羽（飛翔）（ケヤキは、短く刈られていきましたが、営巣している木があるようでした）。

*7月14日 サギのコロニー・うきは市 松富士将和

吉井に行く用事がありましたので、若宮八幡宮のサギのコロニーの確認に行ってきました。一見、営巣していないように見えましたが、営巣しています。下からは巣が見えず、ヒナの確認は出来ませんでした。



▲うきは市の若宮八幡宮 撮影：松富士将和



▲アマサギ 撮影：松富士将和



▲ダイサギの巣 撮影：松富士将和



▲アオサギの巣 撮影：松富士将和

*7月19日 サシバ・星野村 松富士将和

八女市星野村の茶の文化館で食事中にガラス越しに杉の木のてっぺんにサシバが止まり、すぐに飛び去りました。

棚田の所では、ホトトギス、キセキレイ、セグロセキレイ、ウグイス、ホオジロ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、ガビチョウを確認しました。



▲サシバ 撮影：松富士将和

*7月18日 ササゴイ・筑後市 野田（美）

筑後市のJR羽犬塚駅前の筑後諏訪神社にササゴイがコロニーを作っており、ヒナが30羽ほどいます。境内の大きなクスノキ3本に巣しておらず、巣から出たヒナを下から容易に観察できます。一部のヒナはすでに地面に降りたりしていますが、警戒心があまりなくて心配になります。時折飛んでくる親鳥はとても警戒心が強いです。

*7月21日 ササゴイ・筑後市 野田敦子

諏訪神社のササゴイのコロニーを見てきました。すごい数ですね。幼鳥があちこちの枝を歩いたり飛び回つたりしていました。長くて黄色い逞しそうな足が印象的です。親鳥も見かけました。まとわりつく子を叱るような様子がありました。神社は無人ですが周囲は住宅街で、よくもまあこんな所にコロニーをと思いました。ササゴイの世界も住宅難なのかもしれませんね。



▲ササゴイの飛翔 撮影：野田（美）



▲ササゴイのヒナ 撮影：野田（美）



▲サラゴイの若鳥 撮影：野田（美）

*7月29日 モズ（高原モズ） 怡土秀子

聞きなれない声がするので、庭を見ると葉陰に下面が白っぽい鳥、よく見るとモズです。モズ何だけど頭部から背はグレー、ルリビタキの様に、脇はオレンジ色でとてもシックで美しい。「鳥くんの比べて識別」で調べると、高原型のモズではないかと思います。高原型のモズが、いると言う事を知りませんでした。遠くに行かなくても、家のまわりに、いるかも知れないと思うと、ワクワクしますね。



▲モズ（高原モズタイプ） 撮影：怡土秀子

*7月31日 オジロトウネン・八女市柳瀬下柳瀬 石橋（信）

暑かったので矢部川を千間土居から上流方向へ、鮎釣り人が居ない場所で、鳥が居る場所をさがしにいきました。馬場のフクロウ神社の近くの矢部川沿いの宮野公園下流です。

近くに居た鳥は、イソシギ、イカルチドリの幼鳥、オジロトウネン、アオリギ、ダイサギ、カラス等でした。

最初見たときかなり遠く、堤防の上から車内撮影で河面の対岸に、模様が見た事が無いと思い鳥がいると思い、比較となる物をと思いついたらイカルチドリが側に来てくれました。

夏のオジロトウネンは珍しいと思います。



▲オジロトウネンとイカルチドリ 撮影：石橋（信）



▲オジロトウネン 撮影：石橋（信）

*8月8日 ササゴイ・サギのコロニー 松富士将和

昨日は、柳川に行く用事があり、途中の水田天満宮に行きましたが、池の横のクスノキは、ササゴイ 1 羽だけでした。もう巣立ちした後で、遅かったです。なお、巣の数は、7, 8 個ほどと少なく、ここ以外には営巣していない様でしたが、むしろ、駅前の諏訪神社の方がはるかに多いササゴイの巣がありました。

また、久留米市上津町の上津小学校南側の瞳が池のサギのコロニーも見てきました。写真を整理(拡大)していたところ、ヒナが巣立った後の大きなコロニーを示すものが写っていました(おそらく、吉井若宮神社の数倍以上もの規模です)。

<その他の地域>

*5月23日 玉名市のブロンズトキの情報・ほか 松富士将和

熊本県の知人から、熊日新聞の玉名市に飛来したブロンズトキの記事を送ってきました。ちなみに、ブロンズトキは、4月1日石垣島 19羽、4月2日、広島県で2羽、5月24日東与賀干拓のバス田でも1羽確認観察されたとWebにありました。

注) 以下のWeb情報があります(2021年8月現在、関連サイトは今後消失する可能性があります)。

熊本県玉名市：<https://kumanichi.com/articles/284255>

石垣島：<https://ryukyushimpo.jp/news/entry-1298938.html>

広島県：<https://www.asahi.com/articles/ASP546SB2P53PLZU001.html>

佐賀県東与賀干潟：http://kamimine.cocolog-nifty.com/blog/2021/05/post_dc8fbf.html

この他に以下の情報もあります。

福岡県築上町：<https://mainichi.jp/articles/20210604/ddl/k40/040/227000c>

鹿児島県：<https://www.asahi.com/articles/ASP5F4FX0P5DTLTB00L.html>

島根県：<https://sajin1956.blog.fc2.com/blog-entry-593.html>

愛媛県：<https://www.ehime-np.co.jp/article/news202105310087>

富山県：<https://news.yahoo.co.jp/articles/4b00ff53e3a5330ab14e02b6f743758b6e6c5d548>

*6月23日 アオゲラ*1・大分県男池 井手賢造

九重の男池にて、後ろ姿だけ撮影出来ました。まだカメラも始めたばかりで、なかなかうまく写せませんが、ご了承下さい。サンコウチョウと、オオルリの鳴き声は、確認しました。



▲アオゲラ 撮影：井手賢造